



ASAHIYAMA ZOO

旭山 どうぶつえん ニュース

モユク・カムイ

★モユク・カムイ
(アイヌ語でエゾタヌキ
のことです。)

キリンの体で“長い”部分は
どこでしょう。そう、首と足
はすごく長いですね。まだあ
ります。まつげも長いし、し
っぽも... それに舌も長
いんです。ときどき草や木の
葉を食べようとしてキリンが
長い舌を出しているところが
見えるかも知れませんよ。

飼育動物数

(7月1日現在)

哺乳類	45種	205点
鳥類	76種	380点
爬虫類	5種	33点
合計	126種	618点

AUG.
1989

NO.

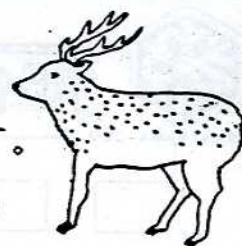
17



『草食動物』—— Part 2 ——



今年は草食動物を特集して皆さんに紹介しています。
今回はその2回目、キリンを例にとって反芻をする動物について解説します。



●草食動物のエサとなる植物の細胞はセルロースからなる細胞壁でおおわれています。このセルロースはわたしたちヒトを含む哺乳類は自分自身の消化酵素では消化できません。草食動物はこのセルロースを微生物に分解してもらい、初めて草を栄養源として利用できます。反芻をする動物は大きな胃袋の中で“微生物による醗酵分解”を行っています。

●エサを食べてもいないのに口をもぐもぐさせているのは『反芻』をしているときです。

キリンの首は長いので胃から口へかたまりがエレベーターのように上って行くところがよく観察できます。

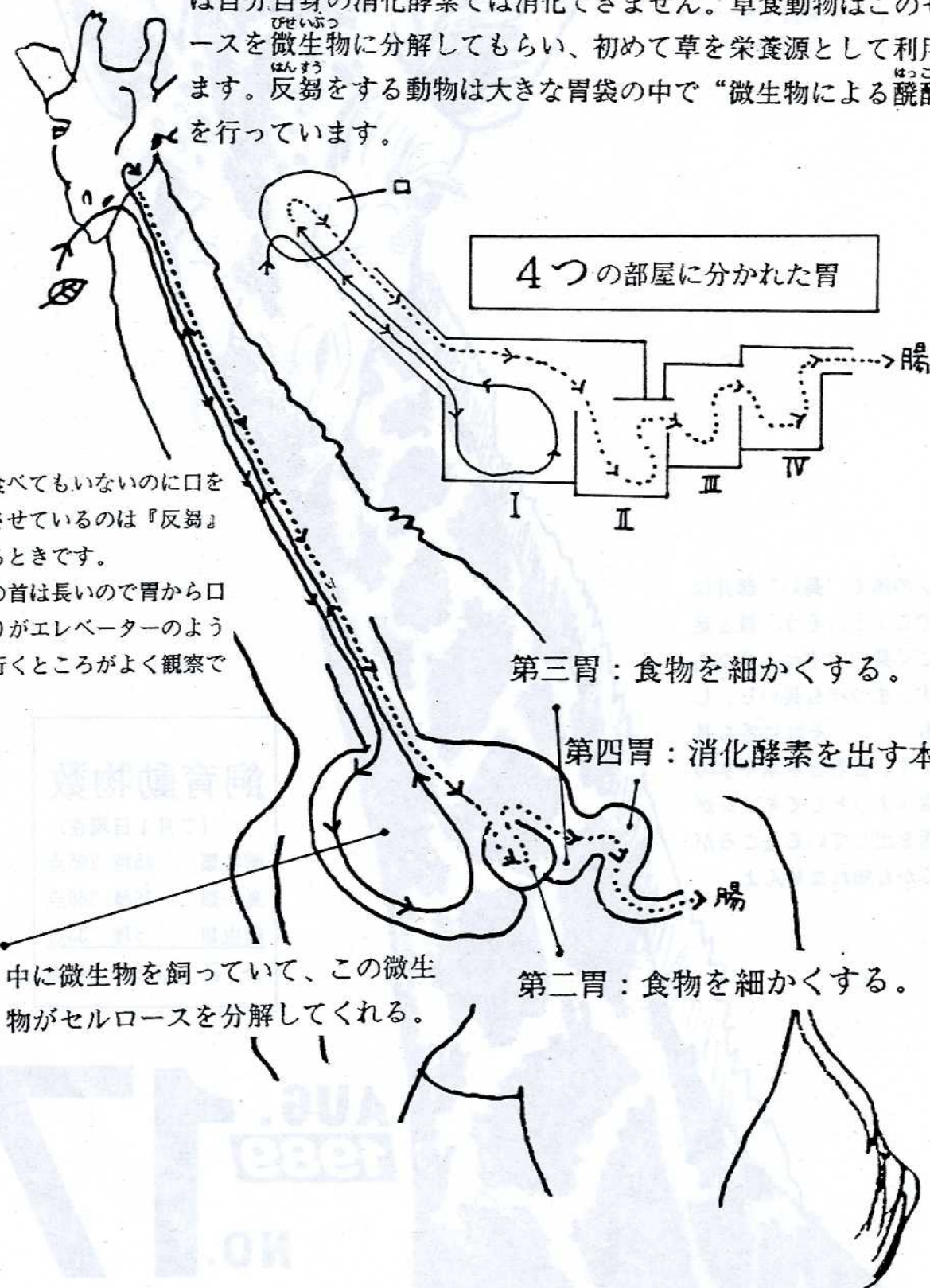
第一胃：中に微生物を飼っていて、この微生物がセルロースを分解してくれる。

第二胃：食物を細かくする。

第三胃：食物を細かくする。

第四胃：消化酵素を出す本当の胃

4つの部屋に分かれた胃



—反すうをする動物たち—

反芻をする動物は『偶蹄目』という、蹄の数が2または4本(=偶数)の動物の仲間です。その中でもイノシシやカバは反芻をしません。

特徴として上顎の門歯(前歯)がありません。

—代表的な動物—

●長い舌

枝を巻き取る

キリン

●長い首 骨の数は7本
みんなと同じ

●上顎に門歯がない

●うつむきかげんの目
足下をよく見るため

●高血圧
高い頭に血を送る

大きな2つの蹄

エゾシカ

●立派な角

毎年生え替る
半年も掛からずにこんなに大きくなる
1日1cmくらい伸びる計算



●強靱なバネ
2~3mの高さならひとつび

フタコブラクダ

●長いまつげ
開閉自由の鼻

●厚い皮膚



中味は脂肪
強い陽射しをさける断熱材

栄養源

●大きな指の裏
砂にめり込まない

反芻をする動物
偶蹄目

ラクダ 科:フタコブラクダ、ビクーニャ
マメジカ 科:インドマメジカ
シカ 科:エゾシカ、ワピチ
キリン 科:キリン、オカピ
アロングホーン科:アロングホーン
ウシ 科:ニホンカモシカ、アンテロープ



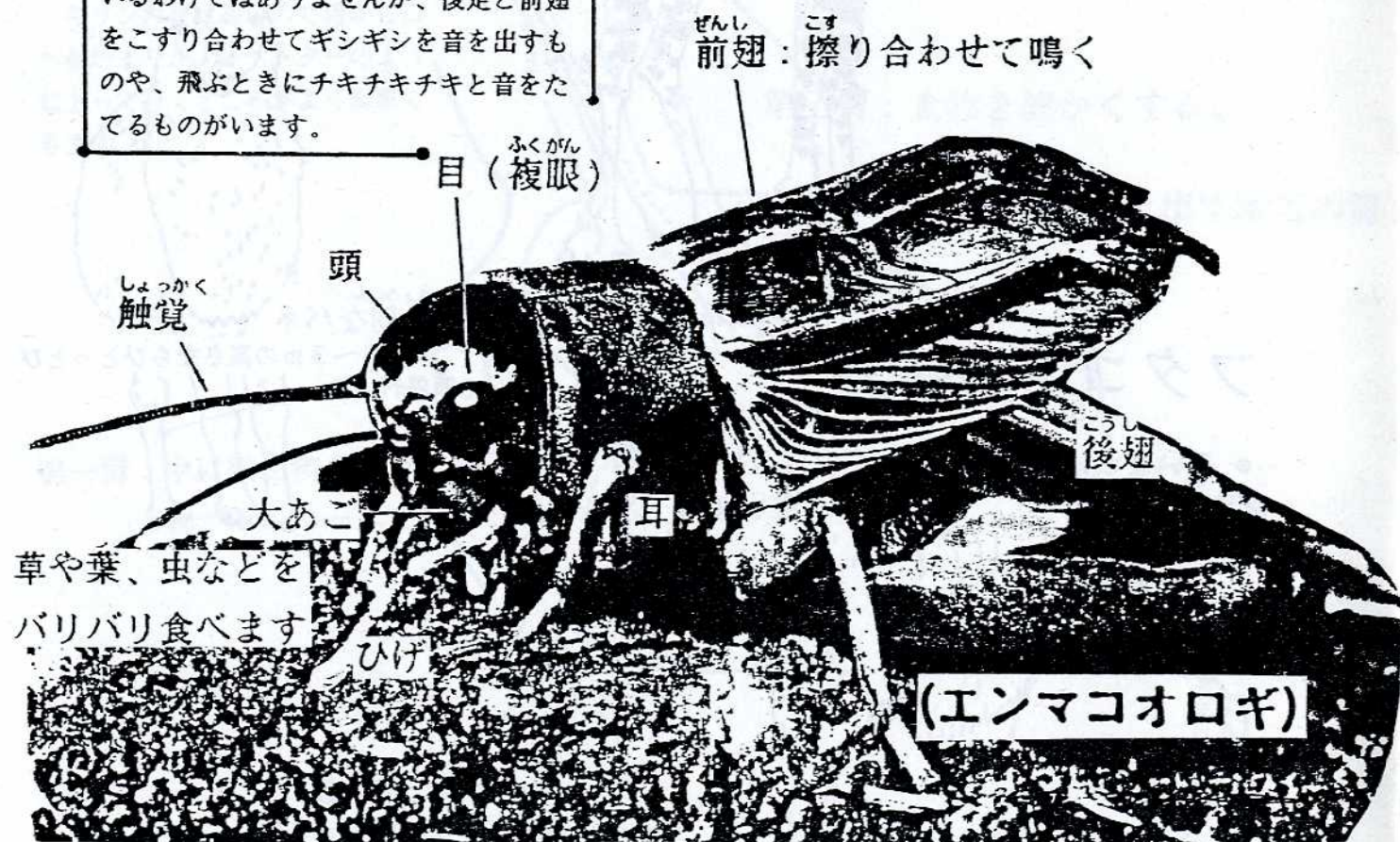
.....北海道の夏は短いですね。もうすぐコオロギたちの鳴く声が聞こえてきます。北海道にはセミの仲間を除けばキリギリスとコオロギくらいしか頭に浮かばないと思います。本州にはこのほかにマツムシ、スズムシ、クツワムシなどの有名な虫がいます。.....

バッタも鳴くの？

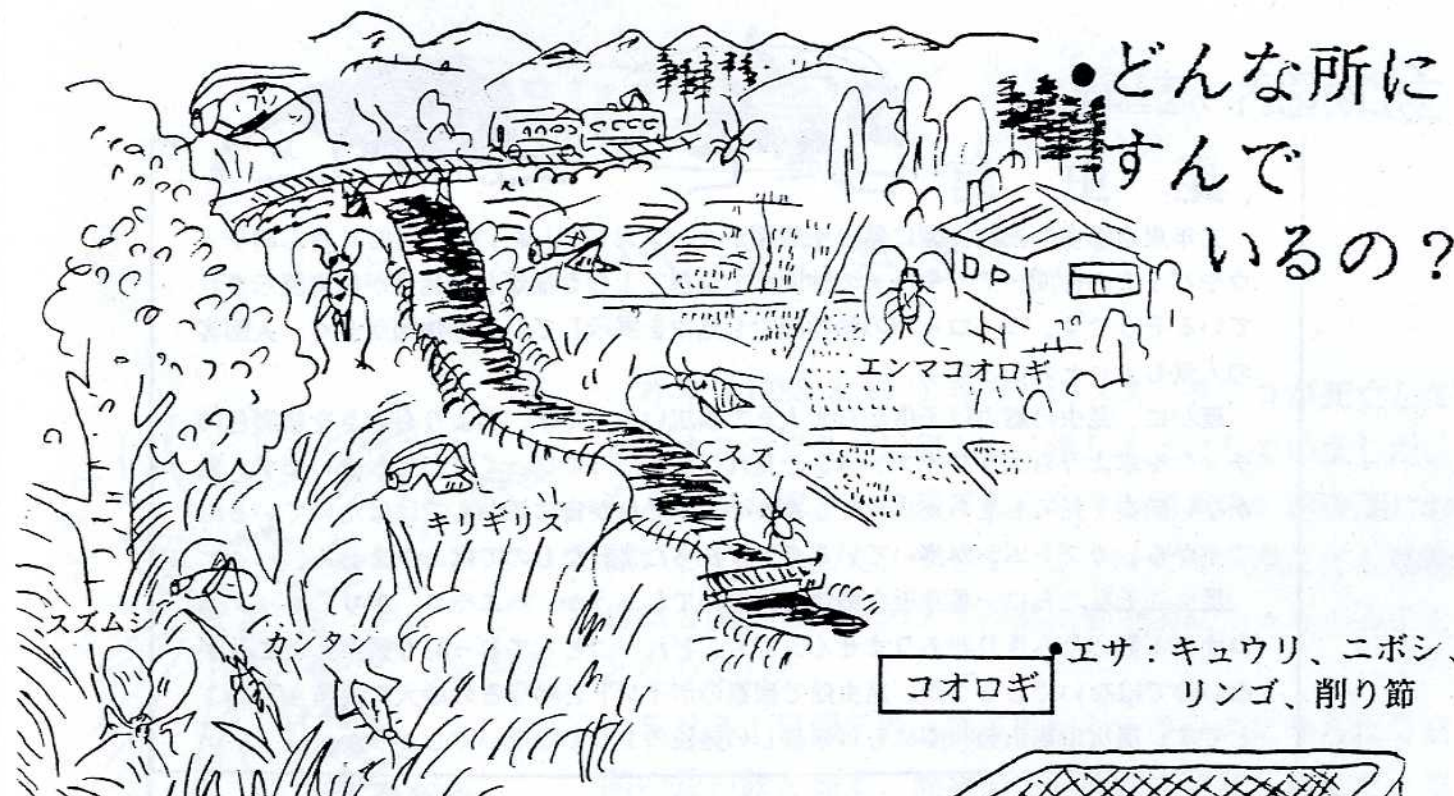
キリギリスの仲間やコオロギの仲間が鳴くのは知っていても、バッタが鳴くといったら驚きませんか？^{もちろん}勿論コオロギのように鳴くための複雑な仕組みを持っているわけではありませんが、後足と前翅をこすり合わせてギシギシを音を出すものや、飛ぶときにチキチキと音をたてるものがあります。



鳴く虫のからだ

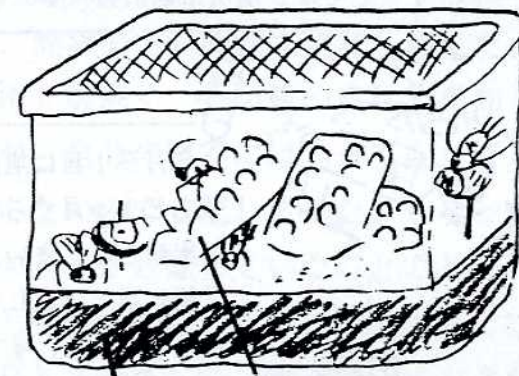


(エンマコオロギ)



飼い方

- カビが生えないように土や砂を消毒する
- 乾燥しないように霧吹きをかける
- 新鮮なエサをやる
- 共食いをするのであまりたくさん入れない

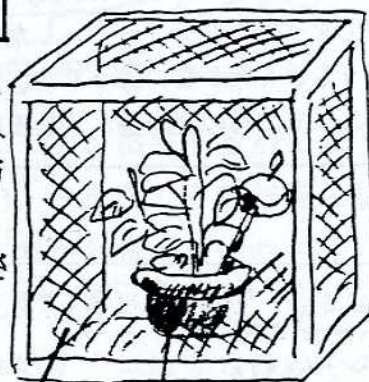


コオロギ エサ：キュウリ、ニボシ、リンゴ、削り節

紙の玉子ケース
土の中に卵を産む

カンタン

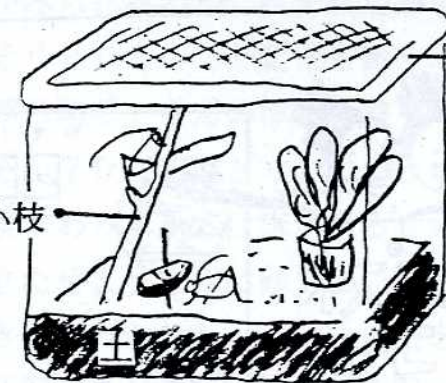
- エサ：油虫、リンゴ、削り節、小鳥用のねりえさ



ネット 鉢植えのヨモギ、ハギ
(ヨモギの茎に卵を産む)

キリギリス

- エサ：草、ニボシ、リンゴ、削り節、蜂蜜



網のふた 小枝 土

“土の消毒”
フライパンでいるか日光に当ててよく乾かす。
土の中にはカビやダニもいます。

“親が死んだら”
死骸やエサの食べのこしをきれいに掃除して涼しいところにおいておきましょう。
来年の春に卵がかえるかも知れません。



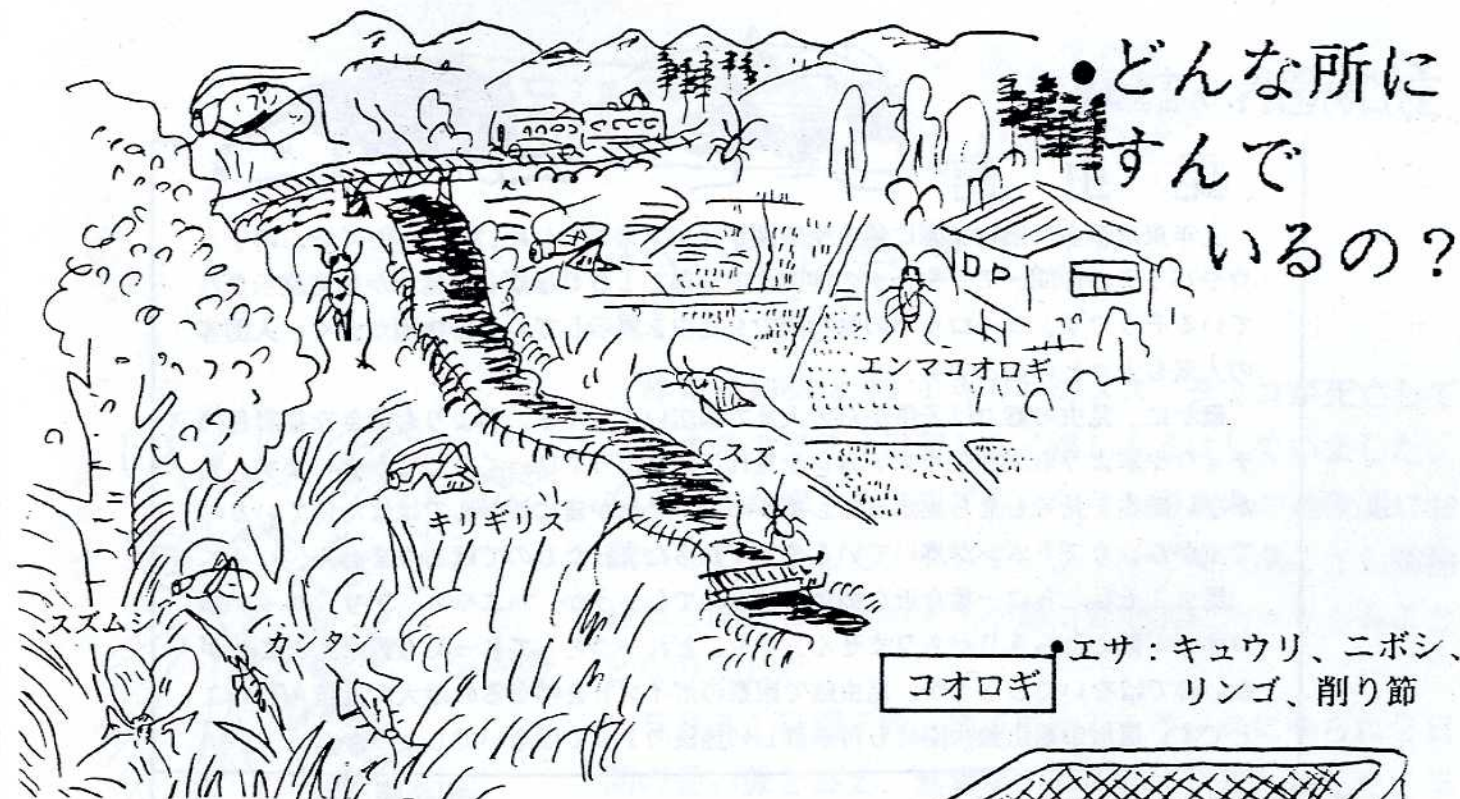
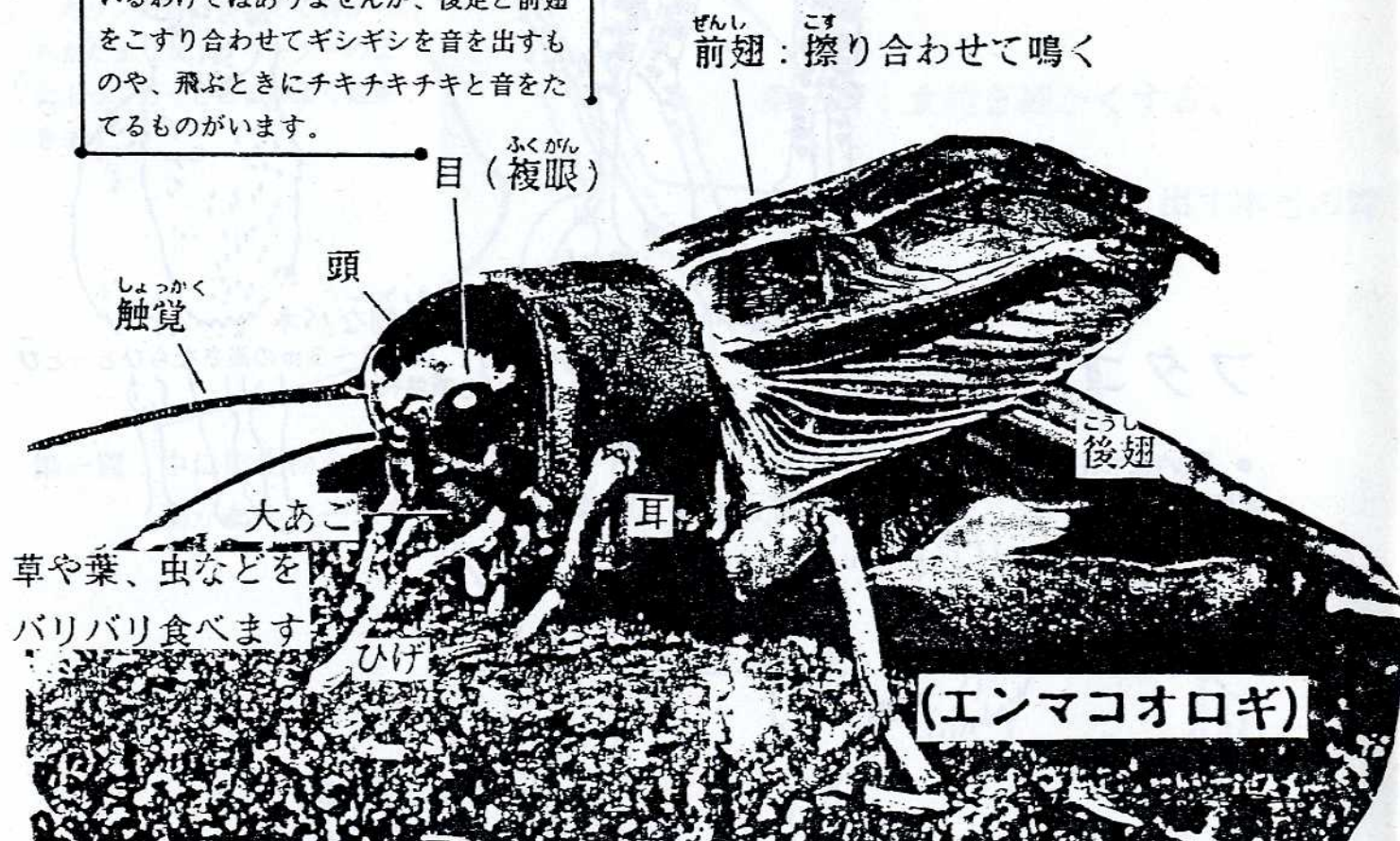
夏休み特集 鳴く虫

.....北海道の夏は短いですね。もうすぐコオロギたちの鳴く声が聞こえてきます。北海道にはセミの仲間を除けばキリギリスとコオロギくらいしか頭に浮かばないと思います。本州にはこのほかにマツムシ、スズムシ、クツワムシなどの有名な虫がいます。.....

バッタも鳴くの？

キリギリスの仲間やコオロギの仲間が鳴くのは知っていても、バッタが鳴くといったら驚きませんか？勿論コオロギのように鳴くための複雑な仕組みを持っているわけではありませんが、後足と前翅をこすり合わせてギシギシを音を出すものや、飛ぶときにチキチキと音をたてるものがあります。

鳴く虫のからだ



飼い方

- カビが生えないように土や砂を消毒する
- 乾燥しないように霧吹きをかける
- 新鮮なエサをやる
- 共食いをするのであまりたくさん入れない

コオロギ エサ：キュウリ、ニボシ、リンゴ、削り節

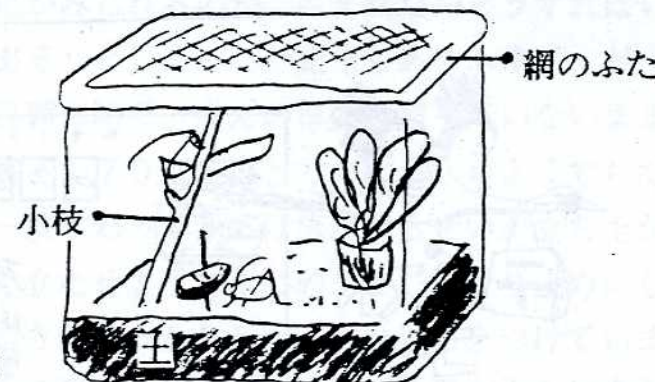


カンタン

- エサ：油虫、リンゴ、削り節
- 小鳥用のねりえさ



キリギリス ●エサ：草、ニボシ、リンゴ、削り節、蜂蜜



“土の消毒”
フライパンでいるか日光に当ててよく乾かす。
土の中にはカビやダニもいます。

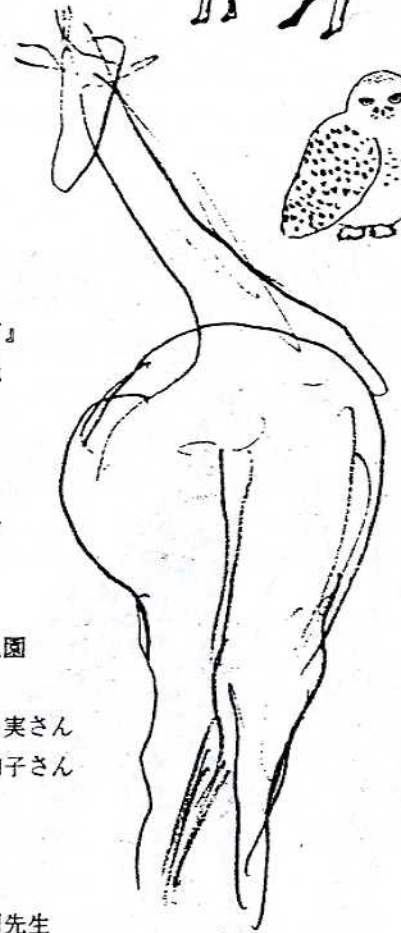
“親が死んだら”
死骸やエサの食べのこしをきれいに掃除して涼しいところにおいておきましょう。
来年の春に卵がかえるかも知れません。



動物園日誌



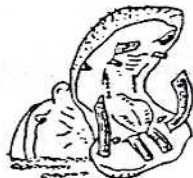
《平成1.4.15～7.25》



- 4.15 ボンネットモンキー出産
- 4.24 アカゲザル出産4.25, 5.2, 23, 24
- 4.29 平成元年度開園
パネル展『北海道の化石』
- 5.7 ワンポイントガイド始まる
第1回目“ホッキョクグマ”深坂
- 5.8 ホッキョクグマ『シロウ』死亡
クロオオカミ繁殖失敗
- 5.11 ハイイロガン^{ふか}孵化
エゾフクロウ^{ふか}孵化(国内2例目)
- 5.19 ワビチ出産(メス)
- 5.23 日本動物園水族館協会北海道ブロック
飼育技術者研究会 於小樽 ～24
『アオダイショウの孵化と成長』高橋
『旭山動物園でのパネル展』阿部
- 5.31 キリン(メス) 1985.9.16 生まれ
埼玉県こども動物自然公園より入園
第140回旭山動物園飼育研究会
『浄化槽の仕組みとサラシ粉の害』坂東
- 6.6 エゾシカ出産 6.19, 7.13
- 6.7 シロフクロウ産卵
上川管内バンディング講習 坂野
- 6.9 アオハクガン^{ふか}孵化
オオタカ^{ふか}孵化
- 6.10 ヤマアラシ 性別判定(メス)
動物園ウォーク・ラリー'89
- 6.16 サル、チンパンジー駆虫 ～17
- 6.18 ヒグマ交尾

- 6.19 タンチョウ(メス)
京都市動物園より入園
オシドリ^{ふか}孵化
- 6.20 キリン出産(メス)
- 6.21 第141回旭山動物園飼育研究会
『ZOOガイドその2』阿部
- 6.24 コブハクチョウ^{ふか}孵化
- 6.25 講演会『君も化石博士になれるぞ』
講師 地学団体研究会 古沢仁氏
- 6.26 ダチョウ(オス)入園
- 7.2 ダチョウ(メス)入園
- 7.4 チンパンジー交換 ～7.5
神戸市立王子動物園より ポビア
旭川市旭山動物園より リキ
- 7.10 タンチョウ(オス)
埼玉県こども動物自然公園より入園
- 7.13 キリン 命名式
メス: マーナ, 命名者 竹森愛実さん
子: トモ, 命名者 伊東置和子さん
- 7.18 ワビチ袋角治療
- 7.19 第142回旭山動物園飼育研究会
『トキソプラズマについて』
旭川医大寄生虫学教室 宮本健司先生
- 7.23 親子動物教室 1回目 草食動物

編集後記



連日の猛暑に些かうんざりしてしまいます。夏本番というところでしょうか。こう熱いと動物たちの食欲も鈍りがちで、飼育係も心配の種が増えて、益々食欲不振となります。

今回は早くも秋に向けて“鳴き虫”の特集を企画しました。昆虫も動物の仲間ですので動物園の仲間です。将来昆虫館のような施設ができると楽しいのですが?

夏休みには親子動物教室や夜の動物園などいつもとは違う動物たちと会ってみませんか。待ちしています。



いろいろ予定

動物資料展示館パネル展

- 『鳥を呼ぼう』展 7.23～8.31
- 『サマースクール』展 8.10～8.31
- 『なきむし』展 9.15～10.22

夜の動物園 8.9～8.16

旭山動物園仮装マラソン大会
9月10日

- | | |
|-----|----------|
| 8.9 | 線香花火大会 |
| 10 | 動物ウォッチング |
| 11 | ヨーヨー釣り大会 |
| 12 | ホテルの夕べ |
| 13 | 動物クイズ大会 |
| 14 | 動物ウォッチング |
| 15 | 線香花火大会 |
| 16 | カブトムシの日 |



モユク・カムイ

No. 17

平成元年8月15日

発行所 旭川市旭山動物園
発行人 菅野 浩

☎ 078 旭川市旭山動物園 ☎ 0166(36)1104
編集委員 小菅正夫 阿部 寛 坂東 元